

回覧				
----	--	--	--	--

Zoom セミナー

『洋上風力産業ビジョン(第1次)』が示した年間1GW(1兆円)投資から成果を上げるための事業者の契約実務と法的リスクの留意点

～風車タービン供給契約、基礎、ケーブル BOP 契約、港湾利用埠頭賃貸借契約解説～

え ぐち なおあき
講師 江口直明 氏 ベーカー&マッケンジー法律事務所(外国法共同事業)
 再生可能エネルギーグループ代表 弁護士

日時 2021年2月2日(火) 午後1時30分～午後4時30分

■このセミナーは Zoom で開催します。お申し込み後に詳細をメールでお送りします。

菅首相の 2050 年カーボンネットゼロ宣言を受けて再生可能エネルギーへの投資が加速している。需要家サイドの再エネを求める声も日増しに強まっている。機関投資家による投資先企業の選別も始まっている。これらを受けて 2020 年 12 月 15 日には洋上風力の産業競争力強化に向けた官民協議会が「洋上風力産業ビジョン(第 1 次)」を出して、政府目標として年間 1GW の区域指定を 10 年継続し、2030 年までに洋上風力 10GW、2040 年までに浮体式も含む 30GW～45GW の案件を形成するとの高い目標を始めて掲げた。1GW は直接投資だけで 1 兆円となり、毎年 1 兆円が投資される産業セクターが創出されることになる。この産業セクターにいち早くコミットして果実を得るにはどうすればよいか。秋田と銚子で始まった公募占用指針とパブコメ回答がその答えとなる。選定基準では過去の洋上風力発電事業の取り組みが問われることになる。このことを見越して、日本企業による欧州や台湾の洋上風力発電事業への参加が始まっている。台湾では台湾政府が 5.5GW の洋上風力発電を推進し、事業者が選定された。ベーカー&マッケンジー台北事務所では、そのうち 6 件、累計 1.95GW 分の入札者の支援を行い落札を勝ち取り、2020 年 2 月には台湾中部の彰化県沖の 589MW の洋上風力発電所のプロジェクトファイナンス(3200 億円超)でプロジェクト会社側にアドバイスを提供した。洋上風力発電は日本では事例が少なく、欧州や台湾の先進事例を積極的に学び、日本に応用していかなければならない。洋上風力発電は規模が 1000 億円を超えるものもあり、資金調達のためにはプロジェクト・ファイナンスを視野に入れなければならない。

本講義では、洋上風力産業ビジョン(第 1 次)を概観した後、実際に洋上風力発電を推進するための各種契約と法的リスクの軽減方法について解説する。洋上風力発電事業ではリスクが大きいため、一括工事請負をする業者がおらず、契約は分割発注となるため、各契約のインターフェースが重要となり、各契約の整合性を取って、契約を作りこむ必要がある。また、施設の価値の大きな部分を占める、風力発電機の購入契約(Turbine Supply Agreement)は製造期間を見込んで、かなり前段階から交渉し、発注をかけなければならない。発電機以外(Balance of Plant, BOP)の工事請負契約も洋上での作業が中心となるため、洋上工事特有の点、特に遅延リスクに配慮しなければならない。資金調達のためには、洋上風力発電に適したプロジェクト・ファイナンスの融資契約・担保契約を作成・交渉しプロジェクトを組成していく必要がある。

1. 日本の洋上再エネ促進法
2. 欧州と台湾の洋上風力発電
3. 風力発電機供給契約 (Turbine Supply Agreement)
4. 洋上風力発電所建設契約 (Balance of Plant Construction Agreement)
5. 洋上風力発電所サービス・補償契約 (Service & Warranty Agreement)
6. 洋上風力発電所運営契約 (O&M Agreement)
7. 港湾利用埠頭賃貸借契約
8. 洋上風力発電所向けプロジェクト・ファイナンス
9. スポンサーサポート契約

本セミナーについては、法律事務所ご所属の方は、お申込ご遠慮願います。

【講師紹介】
 ベーカー&マッケンジー法律事務所の再生可能エネルギー部門のリーダー、取扱太陽光案件:丸紅大分 82MW、ソフトバンクエナジー 苫東安平 111MW、レノバ富津 40MW 等の大規模案件、累計 250 件超、3,000MW 超、複数の 2MW 以下案件のバンドリング、TK-GKスキーム、屋根貸し案件、取扱風力案件:北海道幌延、北海道さらきとまない、北九州響灘、青森県六ヶ所村、愛媛県三崎町、秋田県八竜、石川県輪島、秋田港等累計 17 件、300MW、港湾洋上風力のプロジェクト会社側支援、一般海域の洋上風力入札支援、条例洋上風力支援、その他取扱環境エネルギープロジェクトファイナンス及びPFI案件:バイオエタノール・ジャパン関西(株)、吾妻木質バイオマス発電(13MW)、向浜バイオマス発電(20MW)、50MW x 5 と 75MW x 3 の輸入木質バイオマス発電案件、黒部市下水道バイオマスエネルギー利活用施設整備運営PFI、福岡クリーンエナジー廃棄物処理及び発電、福山RDF発電、東京臨海リサイクル発電、豊橋市複合バイオマス発電 PFI、横浜市消化ガス発電PFI、埼玉県彩の国廃棄物、堺市資源循環型廃棄物処理施設PFI、その他廃棄物 DBO 案件多数、岩手八幡平地熱7MW 等地熱発電 10WM、海外売主との長期バイオマス調達契約のアドバイス、自家所有水力発電所や火力発電所の会社分割によるファンドへの売却と売買契約、IGCC 福島石炭ガス化複合発電 1,080MW、相馬港天然ガス火力発電 1,180MW 等プロジェクトファイナンス、仙台空港、関西空港(入札支援)、福岡空港、熊本空港、北海道 7 空港、広島空港等の民活空港案件。
 1986 年一橋大学法学部卒業、1988 年東京弁護士会登録、1992 年ロンドン大学(UCL)法学修士(国際ビジネス法)取得、1993 年ベーカー&マッケンジーロンドン事務所勤務、内閣府PFI推進委員会専門委員(2010 年～2020 年)、国土交通省空港運営のあり方に関する検討会委員(2011 年)、日本風力発電協会(2006 年～)、同協会洋上風力金融タスクフォース・リーダー(2019～)バイオマス発電事業者協会(2016 年～)。
 主な論文:「日本におけるプロジェクト・ファイナンスの立法課題」(ジュリスト 1238 号)、「アジアにおけるプロジェクトファイナンス」※録音・録画・ビデオ撮影はご遠慮下さい。(OKAJI)他。

■主催 **金融財務研究会**
<https://www.kinyu.co.jp>

Facebook : <https://www.facebook.com/keichoken>
Twitter : <https://twitter.com/#!/keichoken>
Blog : <https://www.kinyu.co.jp/blog/>



開催日

2021年2月2日(火)
13:30~16:30

【Zoom 受講】インターネットに繋がるパソコンがあれば、どこでも受講できます。参加費をお振込いただいた後に、メールで詳細をお送りいたします。

参加費

1名につき35,000円(消費税、参考資料を含む)
1社2名以上同時に参加お申込みいただいた場合、お2人目から1名につき30,000円。追加申込みの場合はその旨ご記入下さい。

申込先

金融財務研究会 ホームページ <https://www.kinyu.co.jp/>
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-10-8 グリンヒルビル
TEL 03-5651-2030 FAX 03-5695-8005

申込方法

ファックス又は郵便にて参加申込書をお送り下さい。上記ホームページの申込欄からお申し込みいただけます。折り返し、受講証と請求書を郵送致します。参加費は下記の普通預金口座に開催日前日までにお振込み下さい。(但し経理の都合等で間に合わない場合は、ご連絡いただければお待ちいたします。)参加費の払戻しは致しませんので申し込まれた方がご都合の悪い時は代理の方がご出席下さい。又当日ご参加になれなかった場合、当社および経営調査研究会主催の他のセミナーに無料でご出席いただけます。(但し新しいセミナーの参加費との差額が2,000円以上の時は差額をお支払いいただきます。また、振替は1年以内をお願いいたします。)ご記入いただきました個人情報、当社および関係会社の受講者名簿の整備や今後開催されるセミナーのご案内等に使用します。

振込口座

普通預金	口座名	(株)金融財務研究会		
三菱UFJ銀行	本店	1642356	三井住友銀行	本店営業部 7397637
三菱UFJ信託銀行	本店	2818151	みずほ銀行	東京営業部 1427715
三井住友信託銀行	本店営業部	2993982	りそな銀行	東京営業部 1693669

切らずにこのままお送り下さい

『洋上風力産業ビジョン(第1次)』が示した年間1GW(1兆円)投資から成果を上げるための事業者の契約実務と法的リスクの留意点
【Zoom セミナー】 2 / 2

FAX 03-5695-8005

参加申込書

2021年 月 日

ご連絡・講師へのご質問等ご記入下さい 下記に✓を入れてください。 <input type="checkbox"/> 会場受講 <input type="checkbox"/> Zoom受講 *セミナーコード 0215 (Law-k210215)	会社名	TEL FAX		
	所在地	E-Mail 〒		
	参加者ご氏名		部課名	
	〃		〃	
	〃		〃	
	〃		〃	
	書類送付先 (同上の場合記入不要)	ご担当者 TEL	部課名 FAX	

お申込の翌日には「受講証・請求書」を発送しておりますが、お手元に届かない場合は、弊社までご連絡下さい。